

チェックポイントG

深山第一砲台とは…

1897年に大阪湾防衛の目的で、紀淡海峡周辺（淡路島、友ヶ島、加太地区）に作られた由良要塞の一部として設置され、1945年の終戦まで使用されていました。



大阪湾方面に侵入する敵から防衛するために設置されていた砲台。深山第一砲台には2門ずつ計6門の榴弾砲が設置されました。砲を守る防御壁があるため、直接海を見ることが出来ませんが、観測所から目標を補足し、曲線状に弾を発射していました。



レトロな雰囲気を残す弾薬庫跡。

3つの砲台を繋ぐトンネル内にある弾薬庫、砲員が敵の攻撃を凌ぐ棲息掩蔽部があり、少ない資材で強度が確保できるアーチ状のレンガ構造が当時のまま残されています。



!! 砲台・弾薬庫跡は、急な階段、低い天井などがあります。散策の際は、ご注意ください。

コース内にあるレンガ道は、砲台建設当時の最新技術を駆使して敷かれ、アスファルトの道ではない風情ある雰囲気となっています。

ウォーキングマップ

自然の小径

休暇村

自然にときめくリゾート

きしゅうかだ
紀州加太



ウォーキングマップ

おさんぽコース

往復 約30分のコース

トレッキングコース

約1時間のコース

深山砲台の二の話

豆知識

休暇村紀州加太がある深山地区にはかつて深山第一・第二・男良谷砲台がありました。第一砲台(レンガ造り)・男良谷砲台(コンクリートと石組み)はウォーキング中に現れます。では、第二砲台はどこ…? そうです!ここ休暇村紀州加太が建っている一角がかつて第二砲台でした。終戦後に壊され、施設のほとんどは消滅していますが、唯一本館前に当時の弾薬庫跡がございます。※現在は経年劣化によりレンガが崩落しており弾薬庫の中へ入ることができません。

チェックポイントF

こちらの展望台からは、加太の町や紀淡海峡、友ヶ島が一望できます。また、鳴らすと幸せになれるといわれる「恋するマリンベル」もおすすめ写真スポットです。散歩後はこちらで休憩するのも気持ちが良いです。



チェックポイントA

本館を出て左へ進み、坂道を下ります。道沿いには、トペラやツバキ、ヤマモモ、どんぐりになるクヌギの木が見られます。



トペラ 4月~5月頃



ヤマモモ 6月~7月頃

チェックポイントB

遊歩道の入口。「海への道」と「レンガ道」への道があります。少し散歩する程度なら「レンガ道」がオススメです。



チェックポイントC

右手には大きなヤマザクラがありここからの道は「こもれびの道」と呼ばれています。その名通り両脇には木々が生い茂り、木漏れ日が降り注ぎます。



チェックポイントD

海への道と展望台へ行く道との分岐点です。海への道を

進むと階段があり、海岸まで降りることができます。



チェックポイントE

屋根のあるベンチで一休み。展望台からの眺めは朝を飲む180度大パノラマ。友ヶ島や淡路島、空気が澄んでいれば明石海峡大橋や徳島県が見えます。漁船は鯛の一一本釣りや、舟釣りを楽しむ方々。周辺には桜の木や、冬にはスイセンが咲きます。

